Creative Enzymes®

E. coli由来コレステロールエステラーゼ、組換え

Cat. No. DIA-405

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ステロールエステラーゼは、加水分解酵素のファミリーに属し、特にカルボン酸エステル結合に作用するものです。この酵素クラスの系統名はステリルエステルアシルヒドロラーゼです。この酵素は胆汁酸の生合成に関与しています。
別名	コレステロールエステラーゼ; コレステリルエステル合成酵素; トリテルペノールエステラーゼ; コレステリルエステラーゼ; コレステリルエステル加水分解酵素; ステロールエステル加水分解酵素; コレステロールエステル加水分解酵素; コレステラーゼ; アシルコレステロールリパーゼ; EC 3.1.1.13; ステロールエステラーゼ

製品情報

種	大腸菌
由来	E. coli
外□	淡い黄色の凍結乾燥物
***EC*番号**	EC 3.1.1.13
***CAS*登□番号**	9026-00-0
分子量	ca. 54 kDa
活性	> 5 U/mg 凍結乾燥物
***pH*安定性**	5.0-10.0
最適pH	5.5–7.0
熱安定性	50°C未□
最適温度	40°C
ミカエリス定数	1.9 x 10^-5 M（コレステロールリノレート）
構造	54 kDaのモノマー（SDS-PAGE）
特異性	コレステロールリノレート (100)、コレステロールアセテート (2)、コレステロールオレート (98)、コレステロールパルミテート (74)、コレステロールステアレート (68)、コレステロールアラキドネート (46)
安定化剤	スクロース
単位定義	1単位（U）は、37°CおよびpH 6.0で1分あたり1μmolのコレステロールを生成する酵素の量として定義されます。